

この度はTASCAM CC-222SLMKIIをお買いいただきました誠にありがとうございます。このクイックスタートガイドでは、今すぐCC-222SLMKIIをお使いいただけるよう、「カセットテープをCD-Rディスクにダビングする」場合と、「アナログレコードをソースとしてCD-Rディスクに録音する」場合を例に、基本的な使い方のみを説明しています。その他の詳しい操作方法については取扱説明書をお読み下さい。

※本文中、[NO TOC] のように[ ]で囲まれている表記は、ディスプレイのインジケータを表します。“Toc Reading”のように“ ”で囲まれている表記はディスプレイに表示される文字を表します。

## 1. カセットテープをCD-Rディスクにダビングする

ここではDUB 1キーを使って、カセットテープの両面を一枚の新品のCD-Rにダビングする場合を例に説明します。

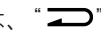

### 1. カセットテープを入れる

1-1 最初に再生する面を表側にして、カセットテープをセットしてください。

1-2 ドルビーの設定

ドルビーをオンにして録音したテープを再生する場合はONに設定します。

1-3 リバースモードの設定

テープの両面をまとめてダビングする場合は、“”を選択します。片面ずつ録音を行う場合は“”を選択します。

### 2. CD-Rを入れる

ディスク挿入口に新品のCD-Rディスクを挿入してください。

ディスプレイに“TOC Reading”と表示された後“0 Tr 0:00”と表示されます。

新品でないディスクを挿入した場合はディスクに録音されているトラック数とトータル時間が表示されます。

表示画面左側に[NO TOC] [CD-R]と表示されていることを確認してください。

**NO TOC**  
**CD - R**

[NO TOC]表示は、そのディスクが書き込み可能であることを表しています。[NO TOC]が表示されていない場合は、そのディスクがファイナライズされて書き込みできなくなっていることを意味します。

[CD-R]の欄にはディスクのタイプが表示されます。CD-RWを挿入した場合は[CD-RW]と表示され、普通のオーディオCDを挿入した場合は[CD]と表示されません。

### 3. オートトラックの設定

たとえばカセットテープをそのままCD-Rに録音するとき、CDレコーダーは、どこが曲の切れ目かを知る術はありませんので、そのまま録音すると全部の曲がつながった長い一つのトラックができてしまいます。オートトラック機能を使うと、録音時に無音が2秒以上続いた時に、そこを曲の間と判断し、そこで自動的にトラック番号を更新します。

3-1 MENUキーを数回押して“A\_TRACK>XXX”を選択します。

“XXX”の部分は、実際にはオートトラックの設定が表示されます。

3-2 MULTI DIALを使って“A\_TRACK>LEVEL”に設定します。

3-3 MULTI DIALを押し込みます

ディスプレイ右下に[A.TRACK]が表示されます。

※クラシック音楽などで、静かな部分が長く続く場合や、前の曲と次の曲の間隔が短い場合、うまくトラックが更新されない場合があります。

※ノイズが多いカセットテープを録音する場合もオートトラックがうまく働かない場合があります。


### 4. 録音レベルの設定

MENUキーを何度か押して“DUB>XXX”を選択し、MULTI DIALで“DUB>THRU”に設定して、MULTI DIALを押し込みます。

“THRU”を選択するとINPUTつまみに関係なく一定のレベルでダビングされます。

### 5. [DUB 1]キーを押す

CDレコーダーが録音待機となり、自動的にテープが巻き戻った後、テープの再生とともにダビングがスタートします。

テープの片面を再生し終わると、自動的にもう片面を再生し、自動的に停止します。(リバースモードが“”に設定されている場合は、最初の片面の再生が終わったら停止します。)

## 6.ファイナライズ

録音したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで再生するためには、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行う必要があります。ファイナライズ処理をしていないディスクは本機で再生できますが、通常のCDプレーヤーでは再生できません。また、いったんファイナライズ処理を行ったCD-Rには追加の録音はできなくなります。

6-1 FINALIZE キーを押してください。

ディスプレイに“Finalize OK?”と表示されます。

6-2 MULTI DIAL を押し込みます。

ファイナライズ処理が開始されます。ファイナライズには多少時間がかかります。

ファイナライズが終了すると“Complete”と表示して通常(CDを再生する)モードに戻ります。

画面左の[NO TOC]表示が消えていることを確認してください。

作業はこれで終了です。

## 2.アナログレコードをCD-Rディスクに録音する

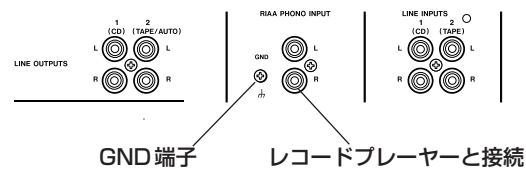
ここではレコードプレーヤーを接続して、アナログレコードを新品のCD-Rに録音する場合を例に説明します。

### 1. 接続する

本機にレコードプレーヤーを接続する方法には二通りあります。

#### 1-1 直接レコードプレーヤーを接続する。

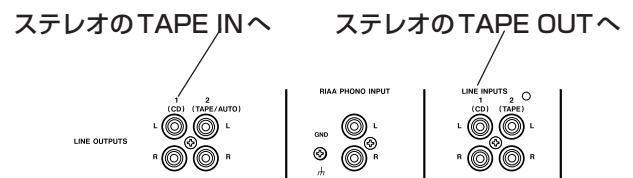
レコードプレーヤーを本機のRIAA PHONO INPUTに接続します。プレーヤーからアース線が出ている場合はGND端子に接続してください。



※ RIAA PHONO INPUTに接続された信号はフォノイコライザーを経由して録音されます。レコードプレーヤーの中にはフォノイコライザーを内蔵しているものがありますので、その場合は RIAA PHONO INPUTではなくLINE INPUTS 1に接続してください。お手持ちのレコードプレーヤーにフォノイコライザーが内蔵されているかどうかについてはレコードプレーヤーの取扱説明書をお読みください。

#### 1-2 お手持ちのステレオに接続して録音する。

本機のLINE INPUTS 1をステレオのTAPE OUTに、ANALOG OUTPUTS 1をステレオのTAPE INに接続します。



※ お手持ちのステレオと接続する場合、端子の名前やステレオでの操作は、ご使用の機種によって違う場合があります。ステレオとの接続方法、操作については、ステレオの取扱説明書をお読み下さい。

### 2. 電源を入れる

電源コードをつないで、接続しているステレオのボリュームが下がっていることを確認して、本機のパワースイッチを押し込みます。

### 3. ディスクを入れる

ディスク挿入口に新品のCD-Rディスクを挿入してください。

ディスプレイに“TOC Reading”と表示された後“0 Tr 0:00”と表示されます。

※ 新品でないディスクを挿入した場合はディスクに録音されているトラック数とトータル時間が表示されません。

表示画面左側に [NO TOC] [CD-R] と表示されていることを確認してください。

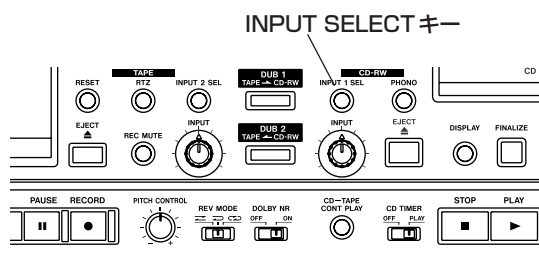
## NO TOC CD - R

[NO TOC] 表示は、そのディスクが書き込み可能であることを表しています。[NO TOC] が表示されていない場合は、そのディスクがファイナライズされて書き込みできなくなっていることを意味します。

[CD-R] の欄にはディスクのタイプが表示されます。CD-RW を挿入した場合は [CD-RW] と表示され、普通のオーディオ CD を挿入した場合は [CD] と表示されます。

### 4. 入力ソースの選択

INPUT 1 SEL キーを数回押して“PHONO”を選択します。INPUT 1 SEL キーを押すたびに入力ソースが切り替わります。“PHONO”を選択するとディスプレイ右にも、[INPUT 1] の欄に [PHONO] と表示されます。



※ PHONO キーを押すと入力ソースが自動的に [PHONO] に切り替わり録音待機状態になりますが、ここではこの機能を使わず、マニュアルで設定して録音を行います。

### 5. オートトラックの設定

たとえばレコードの片面をそのまま録音するとき、録音側の機器では、どこが曲の切れ目かを知る術はありませんので、そのまま録音すると全部の曲がつながった長い一つのトラックができてしまいます。オートトラック機能を使うと、録音時に無音が2秒以上続いた時に、そこを曲の間と判断し、そこで自動的にトラック番号を更新します。

5-1 MENU キーを数回押して“**A\_TRACK>XXX**”を選択します。

“XXX”の部分は、実際にはオートトラックの設定が表示されます。

5-2 MULTI DIAL を使って“**A\_TRACK>LEVEL**”に設定します。

5-3 MULTI DIAL を押し込みます。

ディスプレイ右下に [A.TRACK] が表示されます。

※ クラシック音楽などで、静かな部分が長く続く場合や、前の曲と次の曲の間隔が短い場合、うまくトラックが更新されない場合があります。

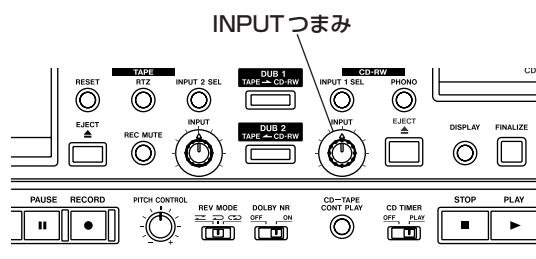
※ スクラッチノイズ（パチパチノイズ）が多いレコードを録音する場合もオートトラックがうまく働かない場合があります。

※ オートトラック機能がうまく働かない場合は、オートトラック機能をオフにしてマニュアルでトラックを設定してください。録音中に RECORD キーを押すことでマニュアルでトラック番号を更新することができます。

### 6. 録音レベルの調整

6-1 RECORD キーを押してください。ディスプレイ左に [REC] が赤く点灯して録音待機状態になります。

6-2 録音ソースをスタートさせて録音レベルを調整します。CD の録音レベルの調整は右側の INPUT つまみで行います。



入力レベルの設定が大きすぎて、メーターが右に振り切れるような状態では音が歪んでしまいます。また、入力レベルの設定が小さすぎるとノイズの多い録音になってしまいます。メーターの表示が右いっぱいには振り切れない範囲で、なるべく大きな値に設定してください。

### 7. 録音の実行

PLAY キーを押すと録音が始まります。

録音ソースを再生してください。

※ CD への書き込みは大変デリケートな作業となりますので、録音中本体を揺らしたり振動を与えたりしないようにしてください。

録音停止するには STOP キーを押します。ディスプレイに“PMA Writing”が点滅表示された後、“Complete”と表示して通常（CD を再生する）モードに戻ります。

録音した CD-R は PLAY キーを押すことで再生できます。

録音を再開する場合は、RECORD キーを押して PLAY キーを押します。

テープレコーダーとは違い、新しい録音は、録音済みのデータの後に続けて録音されます。

## 8. ファイナライズ

録音したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで再生するためには、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行う必要があります。ファイナライズ処理をしていないディスクは本機で再生できますが、通常のCDプレーヤーでは再生できません。また、いったんファイナライズ処理を行ったCD-Rには追加の録音はできなくなります。

8-1 FINALIZE キーを押してください。

ディスプレイに“**Finalize OK?**”と表示されます。

8-2 MULTI DIAL を押し込みます。

ファイナライズ処理が開始されます。ファイナライズには多少時間がかかります。

ファイナライズが終了すると“**Complete**”と表示して通常（CDを再生する）モードに戻ります。

画面左の[**NO TOC**]表示が消えていることを確認してください。

作業はこれで終了です。

## 9. 最後に

ここでは、代表的な使用例を元に最低限の操作のみを説明しました。本機の性能を十分に引き出して、末長くご愛用いただくためにも、このクイックスタートガイドと合わせて必ず取扱説明書もお読みいただきますようお願いいたします。